

わたらい克明の 県政ジャーナル



2001年 新春号 (第7号)

発行人 わたらい克明後援会
豊橋市多米東町二丁目20番地の12

ごあいさつ

新春の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

いよいよ新世紀、21世紀開幕の年、そして新しい千年紀が始まりました。20世紀から21世紀へと世紀をまたぐという、生涯二度と経験できない偉業を、意識しないで成し遂げたわけでありませぬ。

さて、「1年の計は元旦にあり。」という言葉があります。さしずめ、「22世紀までの100年の計は2001年にあり。」といつても過言ではないかもしれません。

百年、千年といつても今が始まりであります。今この時が大切であります。私はこのように捉え、この1年をすべてに勝利することが、21世紀の100年を決める、との覚悟で全力で活動してまいります。

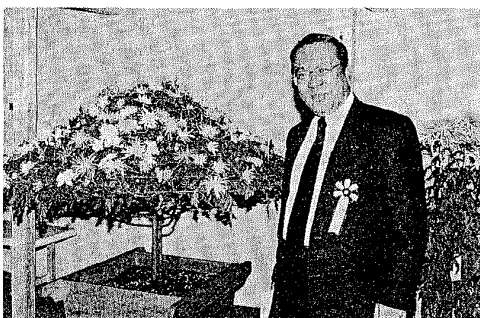
昨年の衆議院議員選挙におきましては、皆様方の献身的なご支援をいただき誠にありがとうございました。結果は大変残念なものとなりましたが、現在は、今夏の参議院議員選挙に大勝利することが、雪辱を果たすことになると決意しております。

本年も県民福祉向上のために、公明党の新世紀完勝のために全力で活動してまいります。今後ともどうか皆様方の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、公職選挙法により、年賀状は自粛させていただきました。お許し願います。

平成13年1月

愛知県議会議員 **渡会 克明**



2000.11.3 第10回ジャパンフラワーフェスティバル
あいちinとよはし
見事な「百種接分菊」の前にて
(東日の山崎さん、ありがとうございました。)

▶1/3付 東愛知新聞
「新年にかける意気込みと抱負」

新世紀開幕の年、あけましておめでとございませぬ。皆様とともに「希望の世紀」を迎えることができ、またたく間に大変わろれしく思っています。

昨年中は、私のつたない活動に対し、温かいご理解と真心のご支援をいただき誠にありがとうございました。本年もどうか変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年も愛知県は、財政を健全化するための努力を怠るわけにはいきませぬ。財政再建の問題は構造改革とセットであります。

財政再建の第一歩は経済の再生であり、まず上向きつつある景気を安定的な回復軌道に乗せ、その上

で本格的な財政健全化に取り組むべきだと思います。今、世間では経済・財政への不安、少子高齢化の中での社会保障への不安、教育への不安、地球環境への不安、IT革命への不安など、複合的な不安が渦巻いています。

だからこそ、今、政治が賢明なるリーダーシップを発揮し、明確なビジョンを打ち出し、実行する時だと思います。

二十一世紀は、「安心の世紀」にしたい。二十一世紀を「健康日本、元氣な愛知」にしたい。私はこのように考えております。

一人ひとりが大目玉という人間主義の政治を目指し、県民が心豊かで安心して暮らせる社会、そして活力ある愛知を構築するため、全力で取り組むつもりです。どうかよろしくお願い申し上げます。

皆様方のますますのご健勝とご活躍をお祈りし、私の年頭のあいさつとさせていただきます。

21世紀は「安心の世紀」に

豊橋 渡会 克明

▶1/4付 東愛知新聞一面より

一人ひとりを大切にすることを大事にしなければ」と語った。また、二十一世紀をイメージする色のアンケートで「白がトップだったが、「希望のある安心の世紀にしたい、物事はすべて分かりやすく、透明性がある政治を皆さんが求めている」と理解しており、その姿勢で今後も活動していく」と決意を述べた。(井上晴夫)

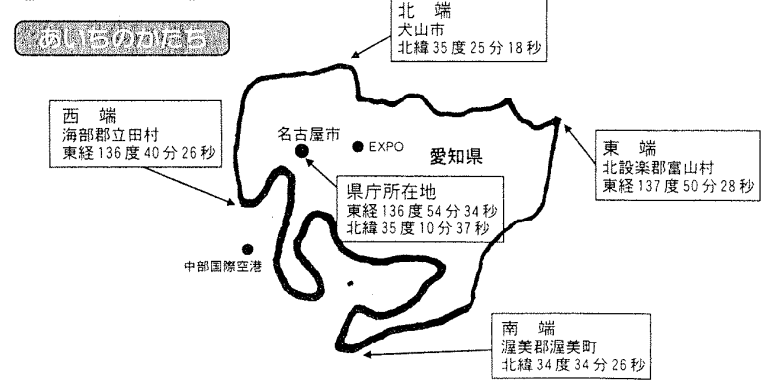


渡会克明氏

21世紀は 人間主義で 本社訪れ渡会県議

渡会克明県議会議員が三日、東愛知新聞社に新年のあいさつに訪れた。二十一世紀を迎え、渡会県議は、IT(情報技術)社会の充実推進が大事。また、それと同時に人間主義、いわゆる

《知ってますか?》



地勢

愛知県は日本列島のほぼ中央にあり、三重、岐阜、長野、静岡の各県に隣接するとともに、南は太平洋に面し、伊勢湾、三河湾を臨みます。

西部は、木曾川によって造られた濃尾平野とその東側の尾張丘陵からなり、また、尾張丘陵が南に伸びて知多半島を形成しています。

中央部は、矢作川に沿って上流に三河山山地が、下流には岡崎平野が形成されています。

東部は、豊川に沿って上流に設楽山地と八名・弓張山地が、下流には豊橋平野が形成され、また、豊橋平野からは渥美半島が伸びています。

—武豊町の3歳女兒餓死事件—

愛知県武豊町の3歳女兒が両親に放置され、餓死した事件が12日、同県議会健康福祉委員会で取り上げられた。同県の大見賢治・健康福祉部長は、児童相談所が医療機関や警察、民間のネットワークなどと十分に連携しなかったとして「どのような非難を浴びても仕方がない。残念」と話し、結果的に行政が命を救えなかったことを事実上、陳謝した。

その上で、同県は、13日に豊田児童相談所で開かれる県内八カ所の児童相談所長会議で、事実をすべて洗い出すよう指示。異例から一方的に依頼する形での連携

福祉部長が陳謝 愛知県

携しなかった警察、学校、医療機関や民間との協力を制を改め情報共有しながら虐待を防ぐ方法を考えたい。同県は今年から、県内二カ所の児童相談所(中央児童相談所、名古屋市中区、岡崎児童相談所)に弁護士一人ずつを配置。親の合意なしに子を引き離して施設に保護する措置を積極的に取り入れるなどの強い姿勢を表明する一方、医療機関や民間の虐待防止ネットワークなどと連携を強化してきたが、結果として機能しなかった。

▲2000.12.13付 中日新聞(26面)

行政「連携不十分」認める

記者席から
○：「愛知万博が目指す「里山と調和した新しいライフスタイル」って一体何？ 僕らのような田舎暮らしなら、もうとくに実践している気もするんだけど。産業労働委員で小田嶋勲委で小田嶋勲氏(自民)が、苦衷まじりにこんな疑問を投げかけた。「山に囲まれた地域で暮らしては、自然と里山と調和したライフスタイルになる」「戦時中は山の斜面に畑を作ったから、五十一年前に既に、新しいスタイルが、苦衷まじりにこんな疑問を投げかけた。小田嶋氏は「なるほど、それなら分かる。今後は難しい横文字に頼らずに、今のようないかに説明をしようか」と論じて一件落着。梅シもスタートさせた。渡会氏は「ホトムベシはす。Tが進んでも、最後に人のつながりがなければ失格、というのが渡会氏の主張。『対面して配慮する部分が欠けたら何の行政か』。I T、I Tとはしゃぐ県に、当たり前前の理屈を突きつけた。どんなにI Tを陳謝した。

技術(IT)革命といっているが、肝心なものが欠けている。認識が甘いと言わざるを得ない。武豊町の女児虐待死について、健康福祉委で渡会亮明氏(公明)が、激しい口舌を交わし、医療機関、民間団体との連携を促した。技術(IT)革命といっているが、肝心なものが欠けている。認識が甘いと言わざるを得ない。武豊町の女児虐待死について、健康福祉委で渡会亮明氏(公明)が、激しい口舌を交わし、医療機関、民間団体との連携を促した。

横文字に頼らず説明を、人同士のつながり大切に

— 応援しています! —



草川昭三の略歴

昭和3年名古屋生まれ。名古屋市立第一工業学校(現、名古屋市立工芸高校)を卒業。石川島播磨重工業組名古屋支部委員長を経て、昭和51年12月、無所属で衆議院議員に初当選(平成12年まで8期23年)。

昭和29年、日本最初の労組代表団の一員としてフランス、イタリア、中国、旧ソ連を訪問し、各国の労働者と交流。また、昭和32年にはアメリカ国務省の人物交流計画により単独招待を受け、アメリカの労働者と意見交換。

17年間に及ぶ労働組合委員長時代は下請け労働者の地位向上や地域住民と連帯した公害被害救済基金の設立運動に尽力。平成10年、新「公明党」結成に参加。衆議院予算委員会理事、国会対策委員長を歴任。

現在、党副代表、与党の行政改革推進協議会専門委員。



プロフィール

- ・山本 保 (やまもと たもつ)
- ・昭和23 (1948) 年7月、名古屋市中村区に生まれ、中川区に育つ。52歳。名古屋市立八幡小学校・八幡中学校、愛知県立旭丘高校を経て名古屋大学を卒業。その後、東京大学大学院へ進み教育学研究科修士課程修了、同博士課程の単位修得。
- ・昭和57年厚生省に入省。児童家庭局にて児童福祉・保育指導専門官として活躍。
- ・平成7年7月、参議院議員に初当選。現在、参議院予算委員、参議院公明党副幹事長。
- ・所属学会：日本教育行政学会、日本社会福祉学会、日本児童育成学会。
- ・現在、名古屋市中川区在住、妻と二人暮らし。
- ・剣道3段

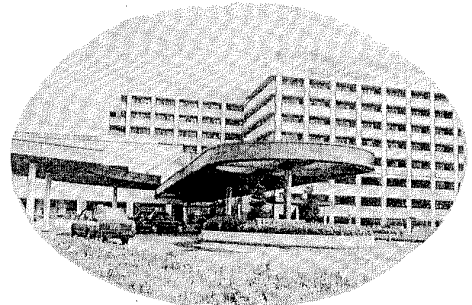
暮らしの相談110番

自宅 〒440-0028 豊橋市多米町東町2丁目20番地の12 電話 (0532) 62-9633 FAX (0532) 64-4368 E-mail : wata99@plum.ocn.ne.jp	県庁 〒460-0001 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号 電話 (052) 961-2111 FAX (052) 961-2013
--	--

県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。また、法律・税務相談等もお気軽に。

《知ってますか?》

愛知県がんセンター



愛知県がんセンター

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1-1
電話 (052) 762-6111 (代)
FAX (052) 764-2963
<http://www.acc.pref.aichi.jp/acc/index.html>

がんを防ぐための12カ条

- 1 バランスのとれた栄養をとる
- 2 毎日、変化のある食生活を
- 3 食べすぎをさげ、脂肪はひかえめに
- 4 お酒はほどほどに
- 5 たばこは吸わないように
- 6 食べものから適量のビタミンと繊維質のものを多くとる
- 7 塩辛いものは少なめに、あまり熱いものはさましてから
- 8 焦げた部分はさける
- 9 かびの生えたものに注意
- 10 日光に当たりすぎない
- 11 適度にスポーツをする
- 12 からだを清潔に

(財団法人 がん研究振興財団)

この県政ジャーナルは再生紙を使用しています。